



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 東洋ゴム工業株式会社
コード番号 5105 URL <http://www.toyo-rubber.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中倉 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 久世 哲也

TEL 06-6441-8801

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	241,663	6.7	11,589	10.4	8,983	11.9	4,106	△19.4
23年3月期第3四半期	226,496	4.0	10,501	65.3	8,029	16.8	5,092	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,097百万円 (57.0%) 23年3月期第3四半期 699百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16.16	—
23年3月期第3四半期	20.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	337,313	79,917	22.9
23年3月期	305,290	79,607	25.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 77,306百万円 23年3月期 77,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	322,000	9.5	10,500	△13.8	7,300	△20.6	2,700	418.2	10.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 東洋輪胎(諸城)有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	254,358,146 株	23年3月期	254,358,146 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	314,004 株	23年3月期	307,234 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	254,046,131 株	23年3月期3Q	254,057,309 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、新興国を中心に一部の地域では景気回復基調を維持しているものの、欧米では原油価格の高止まりや欧州債務問題、雇用の低迷と個人消費の停滞などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。日本においても、東日本大震災（以下、震災）による落ち込みから着実に回復しつつあるものの、急激に円高が進行するなど依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは震災で被災した3工場の全面復旧を5月までに完了させると共に、平成23年度からの5ヶ年計画「中期経営計画'11」の初年度として、成長市場へのスピーディーな事業拡大、最適供給体制の構築、高付加価値商品の拡販、環境配慮技術の具現化、更なる生産合理化の推進などに取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,416億63百万円（前年同期比151億67百万円増、6.7%増）、営業利益は115億89百万円（前年同期比10億88百万円増、10.4%増）、経常利益は89億83百万円（前年同期比9億54百万円増、11.9%増）、四半期純利益は41億6百万円（前年同期比9億85百万円減、19.4%減）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

② 事業別の状況

〔タイヤ事業〕

タイヤ事業の売上高は1,842億47百万円（前年同期比174億35百万円増、10.5%増）となり、営業利益は100億22百万円（前年同期比20億80百万円増、26.2%増）となりました。

(国内新車用タイヤ)

国内自動車生産台数の回復に伴いタイヤ需要も増加傾向にありますが第2四半期までの落ち込みが大きかったため、販売量・売上高ともに前年同期を下回りました。

(国内市販用タイヤ)

震災による生産本数の減少などの影響により販売量は前年同期を下回りましたが、値上げを実施したことや冬用タイヤの販売が好調に推移したことにより売上高は前年同期並みとなりました。

(海外市販用タイヤ)

北米市場においては、値上げを実施したことや積極的に販促活動を展開したことにより販売量・売上高ともに前年同期を上回りました。一方、欧州市場においては、震災による生産本数の減少が影響し、販売量・売上高ともに前年同期を下回りました。また、アジア市場においては昨年マレーシアのSilverstone Berhadを買収したことにより、販売量・売上高ともに前年同期を上回りました。その結果、海外市場全体では販売量・売上高ともに前年同期を上回りました。

〔ダイバーテック事業〕

ダイバーテック事業の売上高は573億81百万円（前年同期比22億5百万円減、3.7%減）となり、営業利益は11億12百万円（前年同期比13億31百万円減、54.5%減）となりました。

(輸送機器分野)

自動車用防振ゴム及び自動車用シートクッションについては、震災の影響に加え、タイにおける洪水被害により自動車メーカーが大幅な減産を実施したため、売上高は前年同期を下回りました。鉄道車両用空気バネ及び鉄道車両用防振ゴムについては、国内外において世界的景気減速による受注減が影響し、売上高は前年同期を下回りました。

(断熱・防水資材分野)

断熱資材分野については、震災の復興需要として仮設住宅や冷蔵倉庫向けの硬質ウレタン原液の販売が急増したため、売上高は前年同期を上回りました。一方、防水資材分野については、下期に入り需要は回復傾向にありますが第2四半期までの落ち込みが大きかったため、売上高は前年同期を下回りました。

(産業・建築資材分野)

産業資材分野については、業界の景気回復基調に伴い標準防振ゴム・道路資材用ウレタン商品の販売が好調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。建築資材分野については、建築免震ゴムの引き合いが震災後増加したことに加え、震災の復興需要により建設用ホース類の販売が好調だったため、売上高は前年同期を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、3,373億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ320億23百万円増加しました。これは、主として、売上債権や製品等の棚卸資産が増加したことに加え、成長市場への投資等に伴って有形及び無形固定資産等が増加したことによります。

また、負債は2,573億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ317億13百万円増加しました。これは、主として、短期借入金や仕入債務等が増加したことによります。なお、有利子負債は1,377億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ196億62百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は799億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億10百万円増加しました。これは、主として、円高の影響により為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金等が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、22.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、為替は想定よりも円高になりましたが、原材料価格が想定よりも安定的に推移したこと等により、前回(平成23年11月8日)発表時の営業利益、経常利益、当期純利益を上回ることとなりました。

なお、第4四半期の為替レートについては、1USドル=77円、1ユーロ=100円を想定しております。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A) (平成23年11月8日発表)	319,000	9,100	5,800	2,100	8.27
今回修正予想(B)	322,000	10,500	7,300	2,700	10.63
増減額(B-A)	3,000	1,400	1,500	600	—
増減率	0.9%	15.4%	25.9%	28.6%	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	294,092	12,182	9,193	521	2.05

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに出資持分を取得した東洋輪胎（諸城）有限公司を連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,074	24,312
受取手形及び売掛金	54,431	73,327
商品及び製品	28,788	37,634
仕掛品	2,633	3,371
原材料及び貯蔵品	9,989	11,670
その他	11,549	11,972
貸倒引当金	△312	△268
流動資産合計	135,154	162,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,796	38,401
機械装置及び運搬具(純額)	48,748	55,919
その他(純額)	36,194	35,231
有形固定資産合計	123,740	129,552
無形固定資産		
のれん	4,508	2,610
その他	2,065	4,853
無形固定資産合計	6,574	7,464
投資その他の資産		
投資有価証券	32,032	31,004
その他	8,294	7,655
貸倒引当金	△505	△384
投資その他の資産合計	39,821	38,276
固定資産合計	170,135	175,293
資産合計	305,290	337,313

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,577	70,221
短期借入金	33,118	54,597
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
未払法人税等	916	3,216
未払金	12,553	11,168
製品補償引当金	224	—
災害損失引当金	973	149
その他	12,773	14,417
流動負債合計	130,137	158,770
固定負債		
社債	18,000	23,000
長期借入金	55,992	54,258
退職給付引当金	13,243	13,044
その他の引当金	171	165
その他	8,137	8,156
固定負債合計	95,545	98,625
負債合計	225,683	257,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,484	30,484
資本剰余金	28,507	28,507
利益剰余金	21,007	23,843
自己株式	△104	△105
株主資本合計	79,894	82,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,785	6,752
繰延ヘッジ損益	△170	70
為替換算調整勘定	△8,974	△12,245
その他の包括利益累計額合計	△2,359	△5,422
少数株主持分	2,072	2,610
純資産合計	79,607	79,917
負債純資産合計	305,290	337,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	226,496	241,663
売上原価	164,509	178,193
売上総利益	61,986	63,469
販売費及び一般管理費	51,484	51,880
営業利益	10,501	11,589
営業外収益		
受取利息	79	134
受取配当金	494	517
持分法による投資利益	237	123
受取補償金	—	200
その他	476	818
営業外収益合計	1,288	1,794
営業外費用		
支払利息	1,648	1,895
為替差損	895	1,181
その他	1,217	1,323
営業外費用合計	3,760	4,400
経常利益	8,029	8,983
特別利益		
固定資産売却益	237	—
受取保険金	—	1,081
特別利益合計	237	1,081
特別損失		
固定資産除却損	392	307
災害による損失	—	1,124
減損損失	—	212
特別損失合計	392	1,644
税金等調整前四半期純利益	7,874	8,420
法人税等	2,547	4,046
少数株主損益調整前四半期純利益	5,327	4,374
少数株主利益	234	268
四半期純利益	5,092	4,106

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,327	4,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,462	△32
繰延ヘッジ損益	108	240
為替換算調整勘定	△3,196	△3,436
持分法適用会社に対する持分相当額	△77	△47
その他の包括利益合計	△4,627	△3,276
四半期包括利益	699	1,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608	1,043
少数株主に係る四半期包括利益	90	54

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	ダイバーテック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	166,796	59,517	226,314	181	226,496	—	226,496
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	69	84	164	248	△248	—
計	166,812	59,586	226,398	345	226,744	△248	226,496
セグメント利益 (営業利益)	7,942	2,444	10,386	129	10,515	△13	10,501

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	ダイバーテック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	184,235	57,367	241,603	60	241,663	—	241,663
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	13	26	159	185	△185	—
計	184,247	57,381	241,629	219	241,849	△185	241,663
セグメント利益 (営業利益)	10,022	1,112	11,135	95	11,231	358	11,589

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は前第3四半期連結累計期間△13百万円、当第3四半期連結累計期間358百万円であり、セグメント間取引消去等が含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。